

**効能・効果** **用法・用量** 追加のご案内

抗CD20モノクローナル抗体  
生物由来製品、処方箋医薬品<sup>(注)</sup>

**リツキサン<sup>®</sup>** 注10mg/mL

**Rituxan<sup>®</sup> Injection**  
リツキシマブ（遺伝子組換え）製剤  
注）注意—医師等の処方箋により使用すること

謹啓

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、このたび弊社より販売いたしております抗CD20モノクローナル抗体「リツキサン<sup>®</sup>注10mg/mL」につきまして、「効能・効果」及び「用法・用量」が追加されましたので、ご案内申し上げます。今後とも従来同様のご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

—記—

下線 \_\_\_\_\_ 部：今回追加された効能・効果、用法・用量

**【効能・効果】**

1. CD20 陽性の B 細胞性非ホジキンリンパ腫
2. 免疫抑制状態下の CD20 陽性の B 細胞性リンパ増殖性疾患
3. ヴェゲナ肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎
4. 難治性のネフローゼ症候群（頻回再発型あるいはステロイド依存性を示す場合）
5. 下記の ABO 血液型不適合移植における抗体関連型拒絶反応の抑制

腎移植、肝移植

6. インジウム (<sup>111</sup>In) イブリツモマブ チウキセタン（遺伝子組換え）注射液及びイットリウム (<sup>90</sup>Y) イブリツモマブ チウキセタン（遺伝子組換え）注射液投与の前投与

**【用法・用量】**

1. <CD20 陽性の B 細胞性非ホジキンリンパ腫に用いる場合>  
通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量 375mg/m<sup>2</sup>を1週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は8回とする。  
<免疫抑制状態下の CD20 陽性の B 細胞性リンパ増殖性疾患に用いる場合>  
通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量 375mg/m<sup>2</sup>を1週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は8回とする。  
<ヴェゲナ肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎に用いる場合>  
通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量 375mg/m<sup>2</sup>を1週間間隔で4回点滴静注する。  
<難治性のネフローゼ症候群（頻回再発型あるいはステロイド依存性を示す場合）に用いる場合>  
通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量 375mg/m<sup>2</sup>を1週間間隔で4回点滴静注する。ただし、1回あたりの最大投与量は500mgまでとする。  
<ABO 血液型不適合腎移植・肝移植における抗体関連型拒絶反応の抑制に用いる場合>  
通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量 375mg/m<sup>2</sup>を点滴静注する。ただし、患者の状態により適宜減量する。  
<インジウム (<sup>111</sup>In) イブリツモマブ チウキセタン（遺伝子組換え）注射液及びイットリウム (<sup>90</sup>Y) イブリツモマブ チウキセタン（遺伝子組換え）注射液投与の前投与に用いる場合>  
通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）として250mg/m<sup>2</sup>を1回、点滴静注する。
2. 本剤は用時生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液にて10倍に希釈調製し使用する。

「使用上の注意」等につきましては、最新の添付文書をご参照ください。  
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構のホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）に最新添付文書が掲載されます。